



# 未来への羅針盤 えびな 未来創造プラン2020始動

## 「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」

企画財政課 ☎(235)4634



### えびな未来創造プラン2020

#### 基本理念

市が目指すべき10年後の普遍的な姿を「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」として定めた、まちづくりの最高理念となるものです。

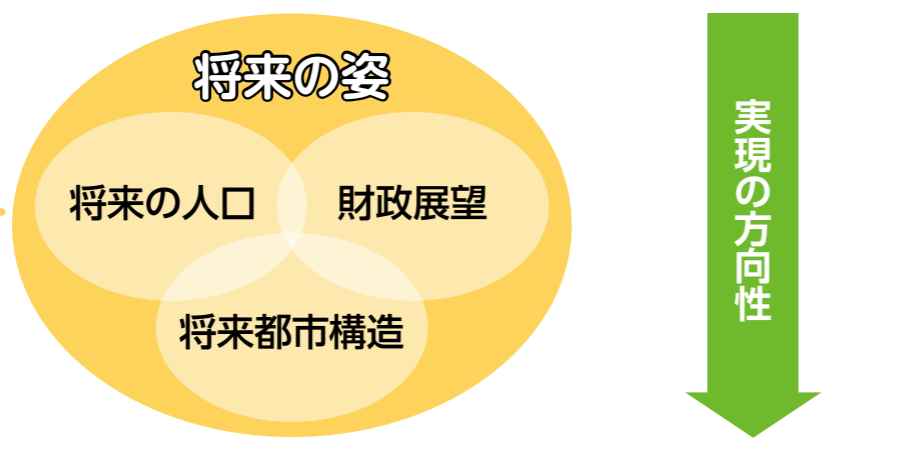
#### 将来展望

今後における市の「将来の人口」「財政展望」「将来都市構造」それぞれの展望を示すものです。

#### 計画体系

市の目指す姿を実現するために必要となる分野を検討し、8つの行政分野別の目標を体系的に示したものです。10年間の計画として、関連する個別計画や毎年度の予算事業を進める上で参照すべき政策上の「目指す姿」「今後の方針」を示しています。

**本市の目指す姿**  
「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」



#### 具体的な事業

海老名市はこれまで右肩上がりに人口が増加してきましたが、今後の全国的な人口減少時代の到来から大きな転換期を迎えようとしています。計画では基本理念に「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」を掲げ、「将来の人口」「財政展望」「将来都市構造」の展望を踏まえながら、各行政分野の目標などを設定しました。

市が目指す10年後の姿は「みんなが笑顔 住みやすいまち えびな」

「総合計画」は、将来の海老名市をどのようにしていくかを総合的にまとめた未来への羅針盤とするもので、市の最上位計画です。

「えびな未来創造プラン2020」(3頁)は、平成20～31年度の第四次総合計画を見直した新たな総合計画で、計画期間は令和11年度までの10年間です。

市の行政運営の羅針盤となる新たな総合計画「えびな未来創造プラン2020」が令和2年度からスタートします。これは、市が目指す10年後の姿とその実現に向けた方針を示したものです。

#### 市の最上位計画

### 2 市民と職員の参加

市民アンケートや市民ワークショップなどを経て、多くの市民が計画作りに携わりました。また、市の職員もプロジェクトチーム会議を通じて策定に関わることで、さまざまな現場の目線が加わった実効性の高い計画としています。



市民ワークショップの様子



プロジェクトチーム会議で意見交換

### えびな未来創造プラン2020

## 2つの視点

### 1 時代の変化に対応

これまで市の総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成していましたが、近年の人口の変動をはじめ、多様化する市民の価値観やライフスタイル、自然災害の大規模化、国際化や高度情報化といった社会経済情勢の変化やスピードに対応できる計画が必要となりました。このため、「えびな未来創造プラン2020」ではこれまでの計画構成を踏襲せず、時代の変化に伴う新たな課題に柔軟に対応できる計画としています。